

【研究概要】

大腸 ESD は他の消化管の ESD に比べて技術的難易度が高いが、我々は以前 pocket Creation Method (PCM) の有用性を報告した。PCM は粘膜下層剥離を先に行うため内視鏡が安定し容易に剥離できるが、その後の粘膜切開が不安定となる。今回我々は開閉クリップを用いて対側に腫瘍の粘膜を固定し、周囲切開も安定して行うことができる方法 PCM with clip traction (PCM-CT) を考案した。今回、PCM-CT の有効性を従来の PCM と前向きに比較検討することとした。